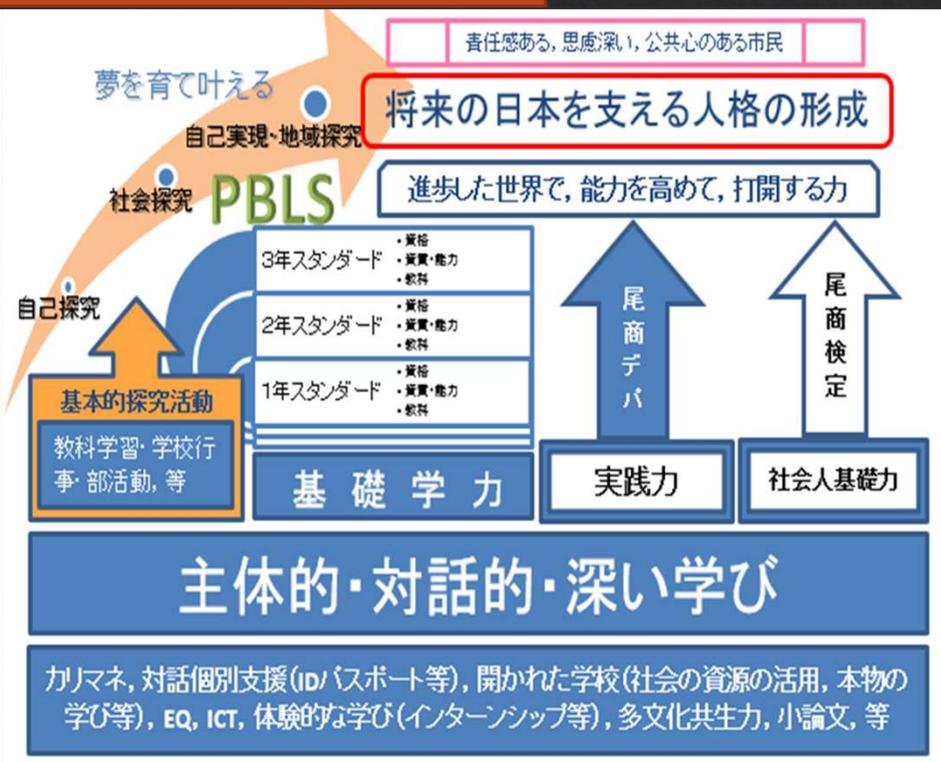


# 「学びの改革」に向けた着実な前進 —エビデンスが語る姿—

平成30年度プロジェクト発足



育成する生徒像，資質・能力評価，総合的な探究の時間  
パフォーマンス評価，教科横断，異学年交流，ツール開発等

月	フェーズ	学習内容	例		
4~6	キャリア設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ設定</li> <li>・探究の企画・設計</li> <li>・仮説検証</li> <li>・心マップ</li> <li>・IDパスポート</li> <li>・ツール(思考、創造、分析、発表、等)</li> <li>・中間発表</li> </ul>	プロジェクト	ツール	学習場面
7~11	探究(個人・グループ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査</li> <li>・個人探究</li> <li>・中間発表</li> <li>・グループ探究</li> <li>・外部資料</li> </ul>	個人探究	グループ探究	学習場面
12~2	発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校パネル発表(異学年交流)</li> <li>・小論文作成</li> <li>・尾商検定</li> <li>・次年度計画</li> <li>・提案型</li> </ul>	小論文	ポスターセッション	

広島県立尾道商業高等学校 教諭 藤居真路

# 教育活動全体で育成する**資質・能力** — **自己の拡大(内部・外部)と手段の充実** —

- 1 **カリキュラム・マネジメント等の発想** 生徒も教師も主体的な学びと教育(Reigeluth(2009), Senge, et al.(2012))
- 2 **リソースの活用**
  - (1)校内リソース 講演会, 異学年, 保護者, 教科横断授業(合同授業, シラバス(各科目年2回)等
  - (2)外部リソース 学校専門家(大学, 専門学校, 等), 小・中学校(礼法指導, 販売体験・実習, 等), 等  
官公庁等(地域観光課, 商工会議所, 等)  
実務専門家(公認会計士, 弁護士, 税理士等),  
実務家(企業, 中小企業経営者, サラリーマン, 等)  
OB・県内の大学生等(大学生によるリモートによる助言, 直接の助言, 等)
  - (3)異文化理解 留学生との異文化交流会, 姉妹校交流会, 観光外国人, 等
  - (4)商品開発・販売 販売実習, ネット販売, 商品開発, 観光産品開発, 地産地消料理法, 等
- 3 **目標と指導と評価の一体化** 逆向き設計, 測定尺度の作成と工夫, EQ導入, 教育評価, 等
- 4 **スキュアフォールディング** ツール(創造性, 思考, 分析, 発表, 論文の書き方, 等)の指導, 等
- 5 **教育方法の改善** アクティブ・ラーニング, ICTの活用, パフォーマンス課題, ジグソー法, ピアラーニング, 等

# 教育評価として実施上の工夫 —エビデンス・ペースによる検証—

1)平成30年度 マスター・ルーブリック信頼性(順位尺度, 一貫性, 等)

◎データに基づいた信頼性ある項目づくりの工夫

※教育評価のためには「具体的に」 ※信頼性を上げるには「簡単に」

2)平成30年度 マスター・ルーブリックの妥当性の検討

◎データに基づいた学業成績や資格検定等と資質・能力の関係の検証

※14の資質・能力の尺度は、学業成績や資格取得に対する予測性

3) 形成的評価, 教育評価として, 現状と課題, 改善方法等の記入

4) 単元ルーブリック

5) EQ等との連携, シラバス等に記入

6) 教科横断的取組 単元の内容, 資質・能力等の観点から協働化

7) キャリアパスポートとの連携 学校生活への個別支援

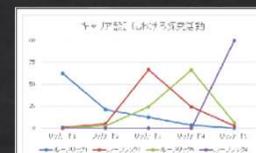


図9 キャリア設計に関する評価  
ルーブリック評価「キャリア設計」について、適切な目標を設定し、具体的な研究計画を立て、主体的に研究活動を行い、自身自身や他校社会等の将来の可能性を拓く内容について述べている。」  
リポート評価「キャリア設計」について、適切な目標を設定し、具体的な研究計画を立て、主体的に研究活動を行い、自身自身や他校社会等の将来の可能性を拓く内容について述べている。」

項目	評価
1	0.88
2	0.77
3	0.76
4	0.55
5	0.55

項目	評価
1	0.88
2	0.77
3	0.76
4	0.55
5	0.55

表 ルーブリック間の構造とα係数

番号	ルーブリック	検定関数	実質関数	α係数
1	キャリア設計について、適切な目標を設定し、具体的な研究計画を立て、主体的に研究活動を行い、自身自身や他校社会等の将来の可能性を拓く内容について述べている。」	88	08	
2	自分のキャリア設計が実現するまで、必要とされる知識・技能を身に付け、その中で主体的に学び、自ら課題を設定し、解決を図る中で、主体的に研究活動を行い、自身自身や他校社会等の将来の可能性を拓く内容について述べている。」	77	10	89
3	自分のキャリア設計が実現するまで、必要とされる知識・技能を身に付け、その中で主体的に学び、自ら課題を設定し、解決を図る中で、主体的に研究活動を行い、自身自身や他校社会等の将来の可能性を拓く内容について述べている。」	76	12	
4	自分のキャリア設計が実現するまで、必要とされる知識・技能を身に付け、その中で主体的に学び、自ら課題を設定し、解決を図る中で、主体的に研究活動を行い、自身自身や他校社会等の将来の可能性を拓く内容について述べている。」	11	55	
5	自分のキャリア設計が実現するまで、必要とされる知識・技能を身に付け、その中で主体的に学び、自ら課題を設定し、解決を図る中で、主体的に研究活動を行い、自身自身や他校社会等の将来の可能性を拓く内容について述べている。」	11	84	70

表 資格 (11クラスター)

クラスター	簿記実務2級	簿記実務3級	情報処理3級	全英英語3級
クラ1	0.0	0.0	0.0	0.0
クラ2	0.0	0.0	0.0	1.0
クラ3	0.0	0.0	1.0	0.0
クラ4	0.0	0.0	1.0	1.0
クラ5	0.0	1.0	0.0	0.0
クラ6	0.0	1.0	0.0	1.0
クラ7	0.0	1.0	1.0	0.0
クラ8	0.0	1.0	1.0	1.0
クラ9	1.0	0.0	0.0	1.4
クラ10	1.0	0.0	1.0	0.0
クラ11	1.0	0.0	1.0	1.0

表 学業成績との関係 (教員)

変数	ルーブリック(登壇)	F1	F2	F3	F4
コミュニケーション能力		0.05	0.18	0.40	0.44
読書力		0.08	0.22	0.12	0.02
企画設計力		0.38	0.30	0.18	0.20
読解力・判断力		0.24	0.00	0.43	0.47
読解力		0.14	0.00	0.30	0.33
リーディング力		-0.03	0.33	0.82	0.98
自己コントロール力		-0.09	0.18	0.50	0.57
関心力		0.06	0.07	0.48	0.44
判断力		0.18	0.13	0.14	0.31
読解力		0.43	0.02	0.82	0.38
読解力(読解)		0.07	0.08	0.12	0.07
読解力(読解)		0.04	0.04	0.04	0.21
読解力(読解)		-0.07	-0.57	-0.91	-0.92
読解力(読解)		0.59	0.12	0.84	0.78
読解力(読解)		0.28	0.79	0.33	1.14
読解力(読解)		0.38	1.00	0.38	0.48
読解力(読解)		0.72	0.33	0.21	0.07

# 自律学習に向けた学びの「プロセス」の必要性 —工夫ある指導法の開発—

## 1 「ツール」による学びのプロセス

- 例えば、創造性ツールを用いて、創造性を働かせるプロセスの学び  
ワークシートを用いて、要素に分けて1部を変える演習を行い、商品開発等を行う。

## 2 振り返りシートによる「学びのプロセス」の学び

- 既習事項や他教科等での学びとのつながりを意識化
- 外部リソースを活用するプロセスを視覚化
- 思考過程におけるプロセスを言語化・視覚化



## 3 ポートフォリオ, パフォーマンステスト, キャリアパスポート, 等の体験的な学びを自己評価

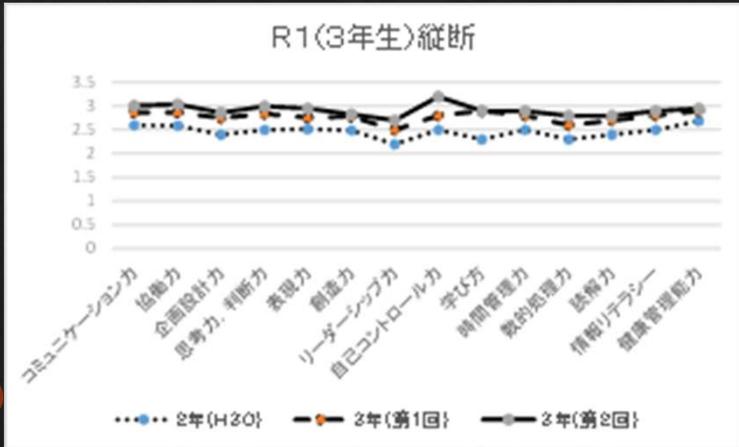
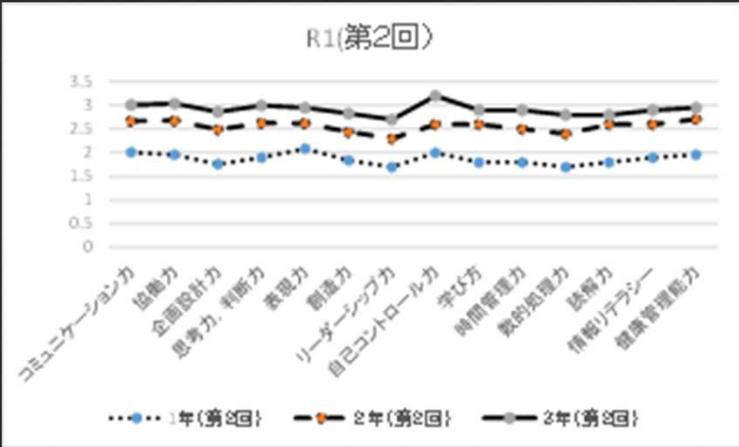
- ポートフォリオ, 論文等について振り返りを行い, 「学びのプロセス」を視覚化

# 「PDCAサイクル」による課題の設定 —育成する資質・能力の質的・量的な改善—

変数	項目	令和2年度			平成30年度		
		F1	F2	F3	F1	F2	F3
生徒像	私は、本校で育成したい「資質・能力」を読んで、本校で育成したい生徒がどのような人物であるのか、具体的なイメージを描くことができる。	.39	-.16	-.12	.37	.61	.22
	私は、本校で育成したい「資質・能力」を身に付ければ、高校を卒業した後、よりよい進路を実現できると思う。	-.28	-1.58	.32	-.08	.91	.08
	私は、本校で育成したい「資質・能力」を身に付ければ、将来よりよい社会生活を送ることができると思う。	.19	.81	1.09	-.21	-1.21	.41
	私は、授業(教科学習)において、本校で育成したい「資質・能力」に対する取り組みが十分に行われていると思う。	.47	.54	-.94	.22	.02	1.07
個別化	私は、学校行事や部活動、特別活動等において、本校で育成したい「資質・能力」に対する取り組みが十分に行われていると思う。	.23	-.73	-.70	.34	-.59	-1.24
	私は、先生方が、本校で育成したい「資質・能力」を伸ばそうとして、個別に生徒に声をかけたり、相談に乗ってくれたりしてくれていると思う。	.33	.42	1.20	.21	.71	-.59
資格	私は、本校で育成したい「資質・能力」は、身に付ける努力をする価値があると思う。	.03	-.75	-.14	.23	-.73	-.19
	私は、本校で育成したい「資質・能力」の伸長を図ることと、資格等を取得することが深く関連していると思う。	.32	1.26	-.45	.35	.22	.45
自律	私は、本校で育成したい「資質・能力」を伸長できるような目標を立てて取り組んでいる。	.82	-1.94	.27	-.46	-1.52	-.82
	私は、本校で育成したい「資質・能力」について、自分で課題を設定して取り組んでいる。	.09	1.57	1.77	-.33	1.63	-1.04
	私は、本校で育成したい「資質・能力」を持てるように、具体的な努力をしている。	.44	.54	-2.09	-.41	-.16	1.93
	正準相関係数	.74	.26	.19	.69	.19	.12

- 【改善方法】
- (1) 育成したい生徒像の具体的なイメージ化
  - (2) 個別最適化
  - (3) 資格の取得の意味付け

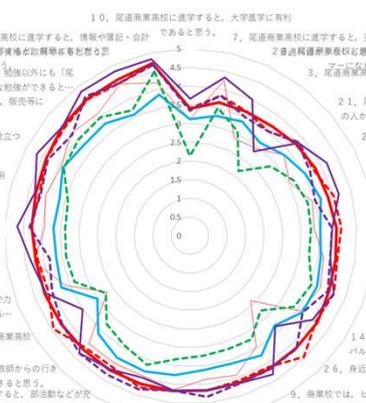
- 【改善必要】
- (1) 自分で課題を設定して取り組める
- 「自律学習」



# 本校生徒・保護者，中学生・保護者，同窓会等の認知 —「学習者を中心」に、幅広い視点による課題の探究—

## 1 高度化を求める願い

生徒の平均値順の項目平均値



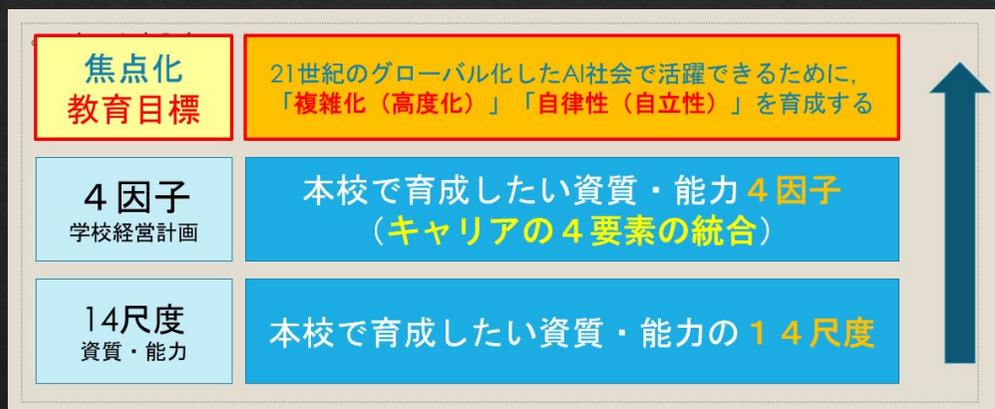
順	分類	項目	平均値
1	協働実施	先生は、説明して理解させようとするだけでなく、グループなどで自分たちに考えさせようとしている。	4.00
2	安心	学校は、安心して学べる場となっている。	3.95
3	実用的	学校で学んでいることは、これからの人生において学んでいくことに役立つものになっている。	3.95
4	高度化欲求	実際の社会に出た際に、少しでもうまくやれるようになるために、難しい課題に対応できるようになりたい。	3.95
5	高度化必要	終身雇用制は将来なくなっていくため、新たな仕事に就くために必要となる力を考えて、計画的に粘り強く高度な学習する習慣を、高校で身に付ける必要がある。	3.94
6	実用的	学校では、コミュニケーション能力といった実際の能力を使うように生徒に求めている。	3.93
7	協働実施	集会などでは、自分たちで集合時間までに整列できるように、生徒同士で協力し合って並んでいる。	3.91
8	高度化欲求	授業等では、進学したり就職したりした際によりよくできるように、難しい課題に対応できるようになりたい。	3.91
9	探究の意義	探究等は、自分が将来AI化が進んだ社会で、自分が世の中で活躍するために必要な基本的な力をつけるための学びの場である。	3.90
10	高度化必要	授業等では、自分の可能性を高めるために、難しい課題に対処できるようになることが大切だ。	3.90

・高度化への必要性・欲求(4)・協働実施(2)

# 全ての教育実践を包括し、全職員の力の結集 — 資質・能力を基盤に実践教育に基づく理論化 —

2 資質・能力をもとに教科教育・キャリア教育・生徒指導の統合に向けて

14資質・能力 > キャリア4能力 > 生きる力(自己指導力)



①文化の次元化 核:価値観の違い (Hofstede, 2011)

②自己指導力  
「自分で考え, 自分で判断し, 行動する力(生きる力)」  
(高橋, 2013)

③自律性 + 高度化 ⇒ 教師の役割, 等  
(Moore, Toth, & Marzano, 2017)

路

21世紀の ①グローバル化が進んだ, ②激動の  
③AI社会で, 活躍できるように!

変 数	人間関係形成能力	将来設計能力	意思決定能力	情報活用能力
コミュニケーション力	.62	.25	.33	.23
協働力	.57	.28	.26	.30
表現力	.57	.25	.35	.38
リーダーシップ力	.58	.39	.32	.25
創造力	.28	.45	.27	.48
読解力	.38	.42	.29	.46
情報リテラシー	.36	.21	.29	.65
企画設計力	.38	.65	.28	.19
思考力, 判断力	.40	.46	.20	.43
学び方	.25	.54	.43	.29
数的処理力	.20	.50	.32	.46
自己コントロール力	.32	.36	.59	.28
時間管理力	.32	.29	.61	.27
健康管理力	.41	.21	.55	.23

# 「課題発見・解決学習推進」を基軸に据えた協働へ —「チーム尾商」の新たな展開—

## 1 対立的図式による権力の流れ

### ①平成27年「広島県学びの变革」

開始時の取組 : 「総合的な探究の時間」(PBL)を1年から3年次に設置, リベラルアーツ(コア・カリ)  
資質・能力の向上は専門性も教養も高める発想 **資格の取得も目指す**

### ②令和元年

**商業科中心主義**: 商業高校合同事業(商業科だけによる「商業科改革」の開始)

ビジネス基礎と情報で「ビジネス探究」

日商簿記2級合格者15人⇒減少

商業科の存在意義再認識

### ③令和3年 **商業科以外の校長「チーム尾商」(校長を中心にして)**

**全職員の力を結集して前進**: 商業科と情報科の統合⇒ **新学科(情報ビジネス科)** **市場調査実施**

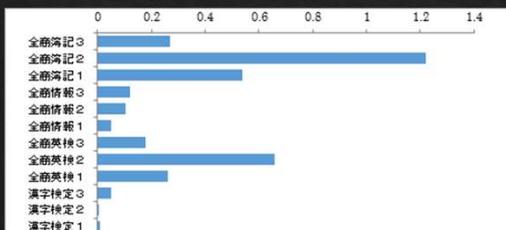
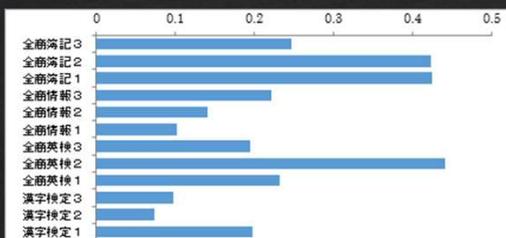
資格・能力を高め, 資格取得も含めた自律的な学びへ。オンライン学習の導入

# リベラルアーツの概念による 教科の壁を乗り越えた連携と協働的な取組へ

平成30年度 資質・能力

高度資格も目指そうとした

資質・能力育成⇒資格高度化



令和元年突如～令和3年(3年目)

商業科の改革(商業科の一部教員を中心にした改革)

- (1) 日商簿記  
合格者の大幅減少
- (2) 入試 定員割 伝統商業高校(尾道商業)も  
入学者定員割 令和3年度尾商 152人(200人定員)
- (3) 商業科教員の一部の教員による取組  
課題発見・解決学習推進担当の指導主事も把握できない

広島県立尾道商業高等学校 教諭 藤居真路

# 「自立化」・「高度化」の学びへの再出発 ーリベラルアーツ, コア・カリキュラムの土台ー

21世紀のグローバル化が進んだ, 激動するAI社会において, 活躍する教育を目指す

(1) 自立化 自律学習推進, 自習学習ノート, 等

(2) 高度化 真正な学び, パフォーマンス課題, 等

(3) 異文化理解 メール, 交流会, 等を活用

★学力差・・・インクルーシブ, 個別最適化, 等

## 【分散認知的アプローチ】

AI 社会で, その科学技術を自分の一部として使って, 活動することが求められる。  
by Cole & Engeström(1993)